

# 小山八幡から東京タワーを望み、 桜並木を通して荏原町商店街へ



さくら見どころ  
トイレ

※このマップはケーブルテレビしながわ  
しながわ楽ビジョン「お出かけ情報」で放映された情報をマップにしています。



**しながわ観光協会**  
〒141-0033 品川区西品川 1-28-3 品川区立中小企業センター 4F  
Tel: 03-5751-7600 Fax: 03-5751-7699  
しながわ瓦版: <http://www.sinakan.jp>

# 小山八幡から東京タワーを望み、 桜並木を通して荏原町商店街へ

西小山の商店街をぶらつきながら江戸見坂を上り、この周辺の総鎮守・小山八幡神社へ。この小高い丘一帯は、渋沢栄一が田園都市構想の下に切り開いた、高級住宅発祥の地です。八幡様の鳥居下からお隣の摩耶寺墓地の間を抜ける緑に囲まれた小道が、通称・哲学者の散歩道。摩耶寺には本堂の他に、お釈迦様の母堂・摩耶夫人の像をまつる摩耶寺があります。門前から中原街道方面へ緩やかな坂道を上れば、周辺の豪族・鎗木家の葛原神社。戻って桜並木の立会い道路を旗の台駅へ。荏原町駅まではにぎやかな商店街が楽しめます。駅前の法蓮寺と旗岡八幡神社もぜひ訪ねてみてください。(所要時間 2.8km 約1時間)

## 江戸見坂

住所：品川区荏原7-6-7

現在ある交番脇の坂上からはるか江戸の地を望むことが出来たことから「江戸見坂」と名づけられたといわれている。

## 小山八幡神社

住所：品川区荏原 7-5-14

- ・創立年月は不詳。社伝に鎌倉幕府の頃とある。口伝では長元三年(1030年)には旧小山村本村の氏神として崇敬されたといわれている。
- ・小山の名の通り、区内随一の高台(標高35m)にて遠望良好、しながわ百景に選ばれている。
- ・小山八幡神社のシイ(2本)  
本殿と摂社の中間にあるシイは、幹囲2m85cm、樹高13m。境内の北西部にあるシイは幹囲2m60cm、樹高16m、樹齢はいずれも約200年。階段を上った神社の左に荏原七福神「大国天」のお堂がある。

## 摩耶寺

住所：品川区荏原7-6-9

- ・同寺は山号を仏母山といい、寛文年間(1661-1673)の開山で、釈迦の生母・摩耶夫人像を祀る摩耶堂がある。
- ・木造摩耶夫人立像  
摩耶夫人とは、釈尊の生母摩訶摩耶のこと。本像は、極めて精巧な彫刻で極彩色に塗られた高さ36.9cmの人形形式の小像。延宝6年(1678)に摩耶寺住職日明が像立したもの。  
・荏原七福神「寿老人」として知られ、毎年、正月には甘酒が配られ休憩所もある。

## 葛原神社

住所：品川区荏原6-2-13

- ・江戸時代は妙見社と呼ばれ、中延の鎗木家の鎮守として祀られていた。鎗木家は千葉氏の末流で祖先が弘治2年(1556年)下総より中延に移住した時に妙見社を勧進したといわれている。
- 葛原神社のボダイジュ(菩提樹)  
シナノキ科の常緑の高木。4本の幹があり、樹高10m、樹齢は約150年。本神社はもと妙見社といい、妙見菩薩を本尊としたことから、仏教に関係のある本樹が植えられたと思われる。

## 荏原南公園

住所：品川区荏原6-16-4

面積は中規模だが地域の核となる公園で、徒渉池から大型複合遊具、多目的広場、キャッチボール場等、幅広い年齢層の人が利用できるような様々な施設を備えている。(旧中延公園)この公園の地中には、浸水被害防止のための雨水貯留施設が設置されている。

## 旗の台1丁目 石造庚申供養塔

住所：品川区旗の台6-16-4

- ・寛文5年(1665)に、旧中延村の庚申講中が造立した高さ92cm、幅38cmの安山岩の板碑型の塔。日蓮宗系の髭題目が彫られた庚申塔として珍しく、日蓮宗の影響が三猿・日月のないのが特色。
- ・区内現存の庚申塔五十基のうち3番目に古い、中央に「南無妙法蓮華経」の髭題目を彫り、その下に石塔を造立した七名の氏名が刻まれている。

## 法蓮寺

住所：旗の台3-6-18

鎌倉時代の中期、文永年間(1264~75)に、荏原左衛門義宗の末子であった郎慶(徳次郎)を開山に、荏原氏の居館を寺として創建されたと伝えられている。旗岡八幡神社とともに源氏にゆかりの寺として、「八幡山」の山号がつけられ、近隣の中延5-6丁目付近には「源氏前」という古い地名が残されている。毎年10月16日が当寺のお会式(日蓮上人の忌日=10月13日に行われる法会)で、多くの人々が万灯や纏太鼓を持って集まり賑わう。

## 旗岡八幡神社

住所：旗の台3-6-12

- ・創建:文永10年(1273)。神社の始まりは源平時代といわれる。
- ・江戸時代には2代将軍秀忠をはじめ、多くの武家の崇敬を受けた。
- ・空襲をのかれた絵馬堂には、数多くの絵馬が残る。特に、品川区の文化財に指定されている猿駒止の大絵馬は、保存状態もよく貴重。境内の桜がとても美しい。

## 知っ得 耳寄り情報!

旗岡八幡神社は、長元元年 上総、下総で起こった平忠常の乱を取めるべく、同3年(1030年)に朝命を奉じた甲斐守源頼信公が同地へ赴く際、一族郎党と共にこの地に宿営した時靈威を感じて現時の氏神たる八幡大神を奉齋し、戦勝を祈願したのがその発祥とされている。高台に陣を敷き、源氏の白旗を靡かせ大いに武威を誇ったことから、この地が「旗ヶ岡」あるいは「旗の台」と呼ばれたのである。